

平成25年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月4日

上場会社名 株式会社 エスプール  
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 浦上 壮平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 佐藤 英朗  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3517-6633

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第3四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	3,953	6.2	55	85.1	44	120.5	34	508.8
24年11月期第3四半期	3,722	△13.9	29	61.9	20	231.2	5	△87.7

(注) 包括利益 25年11月期第3四半期 34百万円 (514.6%) 24年11月期第3四半期 5百万円 (△87.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第3四半期	13.41	—
24年11月期第3四半期	2.20	—

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第3四半期	1,501		177			11.8
24年11月期	1,291		143			11.0

(参考) 自己資本 25年11月期第3四半期 177百万円 24年11月期 142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,262	6.5	80	65.8	66	124.8	50	—	19.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期3Q	2,583,400 株	24年11月期	2,583,400 株
② 期末自己株式数	25年11月期3Q	— 株	24年11月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期3Q	2,583,400 株	24年11月期3Q	2,583,400 株

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期の期末発行済株式数及び平成24年11月期第3四半期の期中平均株式数は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、本日(平成25年10月4日)、当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権発足後の円高修正の流れや、デフレ脱却に向けた様々な経済政策、日銀による異次元金融緩和が打ち出されたこと等により、企業収益環境が徐々に改善してきております。シリアなど不安定さを増している中東情勢等の不安材料は依然として存在しておりますが、企業の設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、国内景気は回復傾向が続いております。雇用情勢についても、このような国内景気の緩やかな拡大を背景に改善傾向にあります。特に、建設やサービス業を中心に企業の雇用不足感が出てきており、厚生労働省が発表した平成25年7月の有効求人倍率も0.94倍と、5ヶ月連続の改善となっております。

このような環境の下、当社グループは、事業拡大に向けた様々な施策を行って参りました。中でも、ビジネスソリューション事業の売上が順調に拡大しました。主力のロジスティクスアウトソーシングにおいて、新規の大型請負案件を受託した他、障がい者雇用支援サービスも法改正の影響等があり、計画を上回る売上を達成しました。一方、人材ソリューション事業においては、好調な人材派遣サービスの需要に対応するため、東京都内の採用拠点を従来の1拠点から4拠点に増やし採用力の強化に努めて参りました。しかし、採用市場における逼迫感は強く、また、職種によっては競合他社との競争が激しく、稼働数はほぼ前年同期並みとなりました。

損益面においては、売上の増加に加え、ビジネスソリューション事業及び人材ソリューション事業の両事業セグメントの売上総利益率が改善したため、積極的拡大のための人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を補うことができました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,953,649千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は55,485千円（前年同四半期比85.1%増）、経常利益は44,452千円（前年同四半期比120.5%増）、四半期純利益は34,634千円（前年同四半期比508.8%増）と、増収増益を達成することができました。

平成25年11月期 第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成24年11月期 第3四半期	平成25年11月期 第3四半期	増減率
売上高	3,722,907	3,953,649	6.2%
営業利益	29,974	55,485	85.1%
経常利益	20,160	44,452	120.5%
四半期純利益	5,688	34,634	508.8%

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを、また、株式会社エスプールプラス（旧株式会社わーくはびねす農園）にて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、ロジスティクスアウトソーシングにて大型の物流センター運営代行業務が新たに始まり、売上が増加しました。また、障がい者雇用支援サービスにおいても、障がい者の法定雇用率が引き上げられたこと等により、企業の障がい者雇用に対する意識が高まっております。そのため、当社グループが展開する農園への参入件数が大幅に増加し、計画を上回る売上を達成することができました。

一方、損益面においては、相対的に利益率の高い障がい者雇用支援サービスの売上が増加したこと、及びロジスティクスアウトソーシングサービスの売上総利益率が生産性の向上等により改善したことにより、当セグメントの利益率が大きく改善しております。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,559,244千円（前年同四半期比22.1%増）、営業利益は137,561千円（前年同四半期比71.0%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、主力の携帯電話販売業務及び前期より開始したコンビニエンスストア向けの派遣の引き合いがともに好調に推移しました。採用市場は逼迫しておりますが、採用拠点の増加等の採用力強化によって、ほぼ前年同四半期並みの売上を確保しました。しかし、競合他社との競争が激しいクレジットカード開拓業務の売上が伸び悩んだほか、派遣法改正の影響から物流企業向けの人材派遣を一部手控えたこともあって、セグメント合計では売上が減少しました。

損益面においては、受注単価が比較的安定的に推移し、売上総利益率は改善しました。しかし、採用拠点増加に伴う人員増加や将来の業務拡大に備えた営業及び管理人員の積極採用、逼迫する採用市場への対応等により、人件費やスタッフ募集費用を中心に販売費及び一般管理費が増加しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,491,330千円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は196,036千円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

平成25年11月期 第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成24年11月期 第3四半期	平成25年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	3,803,431	4,050,574	6.5%
ビジネスソリューション事業	1,277,315	1,559,244	22.1%
人材ソリューション事業	2,526,116	2,491,330	△1.4%
その他	8,287	—	—%
調整額	△88,811	△96,925	—%
合計	3,722,907	3,953,649	6.2%

営業利益（単位：千円）	平成24年11月期 第3四半期	平成25年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	302,177	333,597	10.4%
ビジネスソリューション事業	80,434	137,561	71.0%
人材ソリューション事業	221,743	196,036	△11.6%
その他	△3,086	—	—%
調整額	△269,116	△278,121	—%
合計	29,974	55,485	85.1%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から209,881千円増加(16.3%増)し、1,501,292千円となりました。当第3四半期連結累計期間においては、現金及び預金増加等により流動資産が104,927千円増加しました。また、農園施設の増設やつくばEC物流センター等の新規拠点開設に伴う有形固定資産の取得、敷金及び保証金の差し入れ等により固定資産が104,954千円増加しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から174,916千円増加(15.2%増)し、1,323,301千円となりました。当第3四半期連結累計期間においては、短期借入金の借り増しや、期末銀行休業日の影響による未払金の増加等によって流動負債が166,553千円増加しました。また、新たな長期借入により固定負債は8,363千円増加しております。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から34,964千円増加(24.4%増)し、177,991千円となりました。これは、主に四半期純利益34,634千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね計画通りに推移し、第4四半期連結会計期間も期初事業方針を粛々と実行していくことから、前回発表の予想水準になるものと判断しております。

従いまして、平成25年1月10日に公表いたしました平成25年11月期の通期連結業績予想について、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	578,728	675,948
受取手形及び売掛金	524,359	544,321
商品	2,925	—
仕掛品	3,297	—
その他	83,113	80,342
貸倒引当金	△7,991	△11,253
流動資産合計	1,184,432	1,289,359
固定資産		
有形固定資産	29,135	105,845
無形固定資産	6,087	10,277
投資その他の資産		
その他	101,034	124,001
貸倒引当金	△29,278	△28,191
投資その他の資産合計	71,756	95,810
固定資産合計	106,978	211,933
資産合計	1,291,411	1,501,292
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,283	95,760
短期借入金	483,400	535,664
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	42,796	72,364
未払法人税等	11,631	11,025
未払費用	212,339	233,644
賞与引当金	6,117	22,234
その他	164,057	196,487
流動負債合計	1,040,626	1,207,180
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	87,758	116,121
固定負債合計	107,758	116,121
負債合計	1,148,384	1,323,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	△7,455	27,178
株主資本合計	142,544	177,178
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	330
その他の包括利益累計額合計	—	330
新株予約権	482	482
純資産合計	143,027	177,991
負債純資産合計	1,291,411	1,501,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	3,722,907	3,953,649
売上原価	2,849,615	2,936,181
売上総利益	873,292	1,017,467
販売費及び一般管理費	843,318	961,982
営業利益	29,974	55,485
営業外収益		
受取利息	171	220
還付消費税等	—	597
持分法による投資利益	373	—
法人税等還付加算金	—	283
その他	62	189
営業外収益合計	608	1,289
営業外費用		
支払利息	8,366	10,803
社債利息	1,355	748
持分法による投資損失	—	70
その他	700	700
営業外費用合計	10,422	12,322
経常利益	20,160	44,452
特別損失		
固定資産除却損	2,350	—
特別損失合計	2,350	—
税金等調整前四半期純利益	17,810	44,452
法人税、住民税及び事業税	11,287	12,217
法人税等調整額	834	△2,399
法人税等合計	12,121	9,818
少数株主損益調整前四半期純利益	5,688	34,634
四半期純利益	5,688	34,634



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,688	34,634
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	—	330
その他の包括利益合計	—	330
四半期包括利益	5,688	34,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,688	34,964
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,260,751	2,453,869	3,714,620	8,287	—	3,722,907
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,564	72,246	88,811	—	△88,811	—
計	1,277,315	2,526,116	3,803,431	8,287	△88,811	3,722,907
セグメント利益又は損失 (△)	80,434	221,743	302,177	△3,086	△269,116	29,974

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。
2. セグメント利益の調整額△269,116千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△269,708千円及びセグメント間取引消去592千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション 事業	人材ソリューション 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,548,796	2,404,853	3,953,649	—	3,953,649
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	10,448	86,477	96,925	△96,925	—
計	1,559,244	2,491,330	4,050,574	△96,925	3,953,649
セグメント利益	137,561	196,036	333,597	△278,112	55,485

- (注) 1. セグメント利益の調整額△278,112千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△278,954千円及びセグメント間取引消去842千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前連結会計年度において「その他」の区分に含めていたモバイル・マーケティング事業は、前連結会計年度中にその事業を廃止しております。